

赤中C・Sだより

◆第4回 学校運営協議会のご報告

2月13日（金）に、今年度最後の学校運営協議会が開催されました。

まず、委員の皆様には、1・2年生が「私たちがよりよく成長するためには、どんなことを大切にしたらよいか」をテーマに話し合う『クラス会議』を参観していただきました。

その後、図書館において協議会を行いました。会に先立って、委員の方からは、「大勢の中で難しいテーマについて自分の意見を堂々とやっているのが印象に残った。」「1年生は2年生に比べて恥ずかしさがあって人と同じ意見を言っていた。2年生は自分の意見を言っていた。」「AARサイクルを繰り返してやっていたら成長できると思うが、同調バイアスが働いていないか心配になった。

難しいだろうが、先生方に見極めていってもらいたい。」「民主的な会議をやっていると感じた。多数決で物事が決まるのではなく、それぞれの思いがあって、意見を出し合って、その中から自分のためになる物を取り入れようとしている会議に見えて良いと思った。」と参観しての意見・感想をいただきました。



【『クラス会議』参観の様子】

引き続きの協議では、まず、教頭が、令和7年度後期生徒アンケートの結果から、教育ビジョン重点3項目の達成状況、成果と課題、次年度の方向性について報告しました。委員から「少数派の人たちの評価を上げれば全体が上がる。少数派の人たちをどれくらい底上げさせてあげられるかが重要。少数の子どもたちに力を入れてもらいたい。」との意見があり、教頭は「アンケートの自由記述の欄の些細なつぶやきも見逃さないようにしていく。」と回答しました。

次に、地域連携を担当する教頭が、令和7年度地域と学校パートナーシップ事業報告を行い、課題として、「来年度からの生徒の新たな地域貢献活動として何ができるのかを考えていく必要がある」と話しました。



【協議会の様子】

続いて、次年度の学校運営の基本方針について協議しました。

校長が、次年度の教育ビジョンについて、「学校経営の理念を『すべての生徒が3年間を楽しく過ごせる学校』と位置づけ、令和7年度に引き続き、非認知能力に焦点を当てた取組を学校経営の基本に据えたい。その際、AARサイクルを授業や学校行事などのあらゆる教育活動の基本方針としていきたい。」と説明しました。加えて、教職員の働き方改革に向けた取組についても説明し、委員の皆様から承認をいただきました。

最後に、教頭が次年度の学校運営協議会についての説明を行い、今年度をもってお二人が協議会委員を退任されることを報告しました。2年間ありがとうございました。